

大阪府がん検診受診率向上事業

がん検診受診率向上
モデル事例集

大 阪 府



はじめに

大阪府のがん検診受診率は年々向上してきているものの、依然として全国最低レベルであり、がん死亡率の減少に向けては、府としてがん検診受診率を向上させる必要があります。

このため、大阪府では、がん検診の実施主体である市町村におけるより効果的な受診勧奨を支援するため、市町村のご協力のもと、がん検診のモデル事業を実施し、事例集としてまとめました。

各市町村におかれましては、本事例集も参考にして、受診率向上に向けた取組を進めていただきますよう、お願いいたします。

目 次

I. 母子保健事業との連携による受診勧奨	P.4-5
II. 市教委・PTAとの連携による受診勧奨	P.6-7
III. 大腸がん検診キット事前送付	P.8-9
IV. 大型商業施設での乳がん検診	P.10-11
V. 検診期間を指定した受診勧奨	P.12-13
VI. がん検診と特定健診の同時実施支援	P.14
VII. 退職後の市町村検診受診移行支援	P.15
(参考)・平成29年度厚生労働省『地域保健・健康増進事業報告』におけるがん検診受診率	P.16- P.18
・男女別の年代別がんり患数(2015年)	
・がん検診を受けていない理由	
・厚生労働省の指針に定められたがん検診	

I. 母子保健事業との連携による受診勧奨

乳幼児健診と子宮がん検診の同日実施により
約半数の保護者が検診を受診した！

子宮がんの罹患率がピークとなる30歳代の女性は、出産や育児が生活の中心となっているため、自身の健康管理が後回しになっている可能性がある。そこで、市の乳幼児健診の会場に子宮がん検診車を配置し、乳幼児健診に来た母親が、がん検診を「ついでに」受診できるという環境を整備した。また、がん検診を安心して受診できるように、保育スタッフを配置した。

受診の障壁となるもの

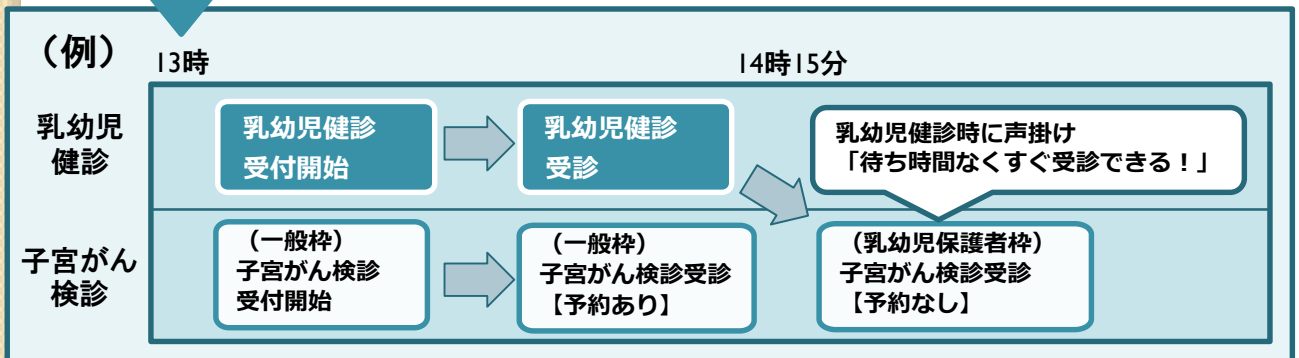
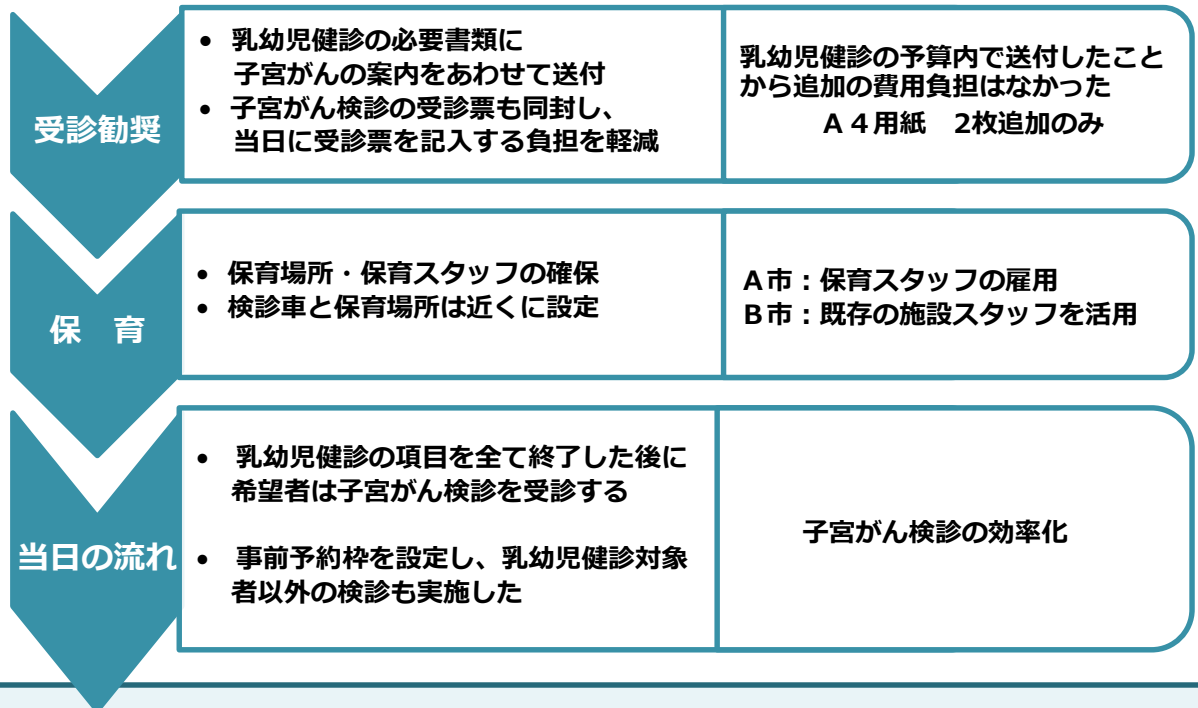
- ・ どこで受診できるの？
- ・ 市のがん検診について
医療機関や受診条件を調べないと…
- ・ 受診の日程調整や
予約をしないといけない
- ・ 子どもは連れて行けるのかな？



障壁を除去

市の保健センターで
乳幼児健診の後に
予約せず、短い時間で
「ついでに」受診

■ 事前準備から当日の流れ



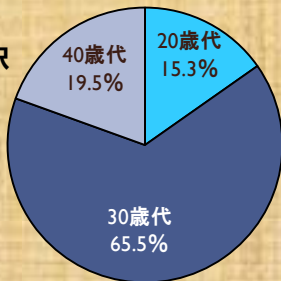
結果 1

受診率は46.6%

6割以上が30歳代の受診

乳幼児健診の保護者を分母とした受診率※1は46.6%であり、大阪府の平均受診率※2 15.1%を大きく上回った。受診率が最も高かったのは、1歳半健診との同日実施であった。また、乳幼児健診の保護者、子宮がん検診の受診者共に30歳代が全体の6割以上を占めていた。

○受診者の年代内訳



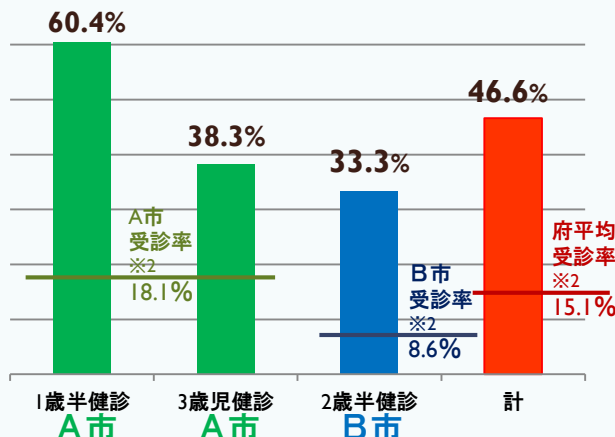
結果 2

子育て世代は忙しい
乳幼児健診との同日実施は、
95%が「きっかけ」に

受診者の95%が今回の乳幼児健診との同時実施が「きっかけになった」と回答した。今回、初めて子宮がん検診を受診した者の半数が、「忙しかった」「時間がない」という理由で受診していなかった。保護者は可能な限り日程を調整し乳幼児健診を受診するため、乳幼児健診の受診率は90%を超えている。その機会を利用したことにより子宮がん検診受診につながった。

(%)

受診率



※1 受診率=乳幼児健診受診者のうち子宮がん検診受診者 / (乳幼児健診受診者数-検診対象外の者)
※2 平成29年度 地域保健・健康増進事業報告

結果 3

保育つきも重要な要素

今後も、保健センターで子宮がん検診を実施した場合の受診意識を調査した結果、95%の者が「受診すると思う」と回答した。また、その3割が「保育つき」を要因に挙げた。また、今回受診しなかった者のうち、6割も「保育つき」は受診のきっかけとなると回答した。子育て世代にとって保育サービスの有無が受診に結び付く重要な要素となる。

3歳半健診 時に

検診車での子宮がん検診が 受診できます！

毎日、育児で大変。ついつい、自分の身体の方は後回しになってしまいますね。大切なお子様の笑顔を守るために、あなた自身も健康も守ってください。お子様の健診だけでなく、お母様の検診も大切です。お母様の検診中は、**保育も実施します！**この機会に是非、受診ください。

当日の子宮がん検診は事前予約は不要です。同封の問診票に必要事項を記入して持参下さい。

※ 昨年度子宮がん検診を受けられていない、20歳以上の方は、**無料**で、子宮がん検診を受けられます。検診自体は数分で終わる簡単な検査です。2年に1度の子宮がん検診を受けてください。当日に受診が難しい場合は、裏面の医療機関でも受診が可能です。

裏面もご覧ください

お問い合わせ先 八尾市保健センター TEL 072-993-8200 FAX 072-996-1598
〒581-0833 八尾市南が丘5-85-16 MAIL gankenshin@city.yao.osaka.jp

事業実施のポイント

大阪府では、子宮頸がんのがん検診重点受診勧奨対象を25～44歳と設定しており、乳幼児健診の保護者の多くはこの年齢層にあたる。乳幼児健診との同時実施はこの層の受診機会の拡充として重要な要素となることが分かった。

一方で、子宮がん検診を集団検診にて同時に実施できるかは市町村の検診体制に左右される。**同時実施が難しい場合、“保育つき”の検診実施や乳幼児健診の際に検診の予約受付の実施等も効果が期待できる。**

Ⅱ. 市教委・PTAとの連携による受診勧奨

学校を通じた「がん検診の案内」「申込み」により
新規受診者の掘り起こしにつながった！

中学生の保護者を対象とした乳がん検診を教育委員会が主催するイベント会場で実施した。子どもから親への受診勧奨効果を目的に案内チラシの配布と申込書の回収を子どもと中学校を通して行った。

■ 事前準備から当日の役割分担まで

事前 打合せ	市の検診担当課、教育委員会、PTA代表で 開催に向けて役割分担や当日の運営方法等について協議	
準備	教育委員会	市立中学校5校に協力依頼 ・全生徒への検診案内書の配布 ・検診申込書の回収
	市の 検診担当課	・乳がん検診車の手配 ・申込者の抽選 ・当選者・落選者への案内の送付
イベント 当日	PTA	★来場者へ他の日程の検診 案内チラシの配布 (300部程度)
	市の 検診担当課	・乳がん検診受診者の受付 ★他の日程の乳がん集団検診の 予約申込受付

■ イベント当日：乳がん検診実施

検診案内書配布数：2,376名（市立中学校の全保護者）

申込数：60名 乳がん検診受診者：44名 【定員40名】

★他日程の乳がん集団検診申込受付：8名

※★…イベント当日、他日程の検診案内・乳がん集団検診の予約受付も行った。

※申込みが乳がん検診の受診定員を超えたことから、抽選を実施、落選者には市の乳がん検診の案内やイベント当日に予約受付も可能であること等を記載した落選通知ハガキを郵送した。

結果 1

子どもからの案内書は
申込者の**70%**が
受診の「きっかけ」に

結果 2

新規受診者の
掘り起こしになった！

今回の受診者の73%は定期的ながん検診を受診していなかったことから、新規受診者の掘り起こしが実現。

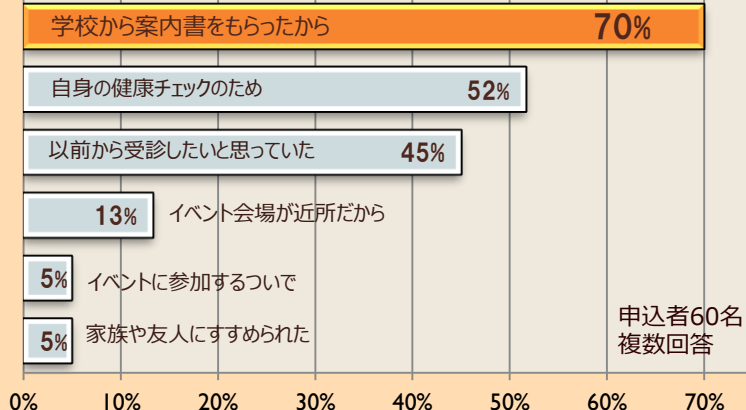
結果 3

申込み手続きの簡略化により、
受診につながった！

申込者の47%が市で乳がん検診を受診できることを「知っていたが受診したことがない」と回答した。受診しなかった理由は「受診の手続きが必要だから」が最も多かった。市の集団検診では、電話か来所による申し込み手続きが必要だが、本事業では申込みを学校を通じて行ったことで手続きが簡略化され、受診につながった。



乳がん検診を申し込んだ理由



結果 4

受診者の**3割**が
保護者間で乳がん検診が話題に

イベント当日、PTAの協力を得て、来場者に他の日程の乳がん検診案内チラシを配布するとともに、予約ブースでは乳がん集団検診の予約受付を行うことで効果的な受診啓発となった。

また、受診者の3割が今回の乳がん検診の実施が家族や保護者間で話題となったと回答したことから今後の乳がん検診受診の口コミ効果も期待できる。

事業実施のポイント

学校を通じたチラシ配布は、身近な存在である子どもから検診についての情報提供が行われるので、個別受診勧奨と同じような効果が認められた。また、アンケート調査からは**受診手続きの簡略化も重要な要素であることが明らかになった。**

幼稚園や小学校と連携し、チラシの配布などを行っている市町村も多いが、**予約まで教育現場を通じて行えば、受診者数の増加につながる可能性がある。**

また、学校行事にあわせて検診車を派遣して検診を行うなどの取組みを行えば受診機会の拡充につながる可能性がある。

Ⅲ. 大腸がん検診キット事前送付

検査キットを申し込み不要・
直接送付により約半数が受診した！

大腸がん検診を集団検診で実施する場合、事前の検診申し込みや検査キットの入手が必要である。

検診申込やキット入手の手間を省き検診受診につなげるため、特定健診の機会を利用して、検診キットの事前送付を行った。

受診の障壁となるもの

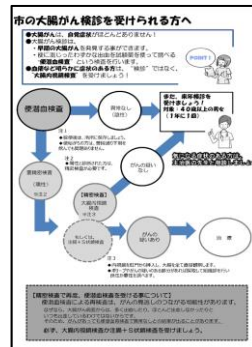
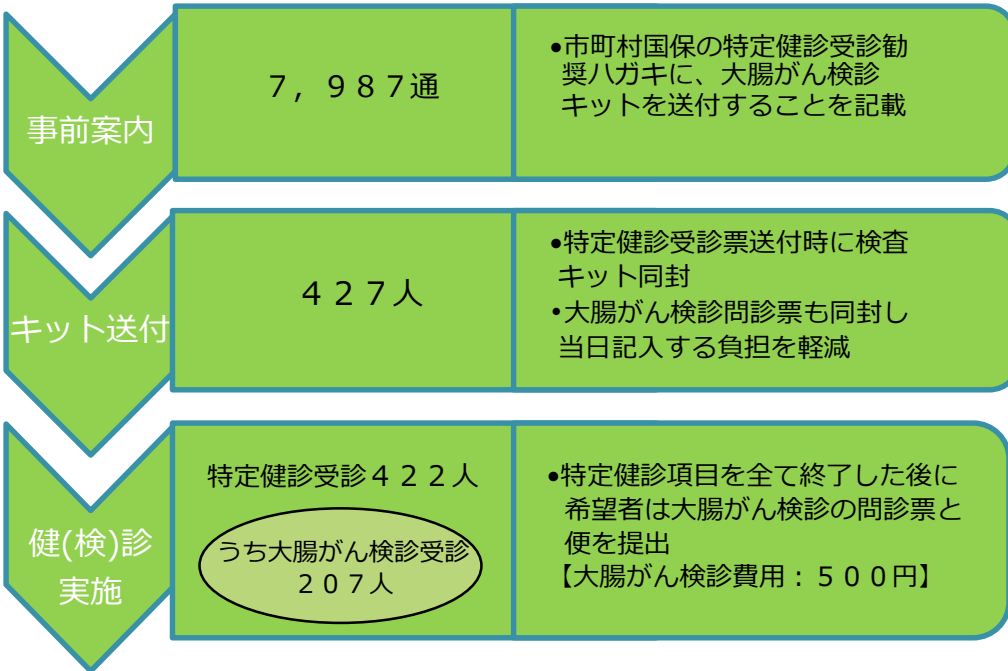
- ・ 予めキットの入手が必要のため、他のがん検診より検査までの手間がかかる
- ・ どこで受診できるのかわからない

障壁を除去



市国保の特定健診申込者に
健診受診票を送付する際に
大腸がん検診の検査キットを同封
特定健診当日に持参してもらい
「ついでに」受診

■ 実施の流れ



※検診受診者には
精密検査受診の
必要性の案内チラシを
配布

結果 1

受診率は49.1%

申込要の場合よりも15ポイント高い

申込不要で実施した大腸がん検診の受診率は49.1%と、通常どおり申込を必要とする大腸がん検診の受診率34.2%を上回った。

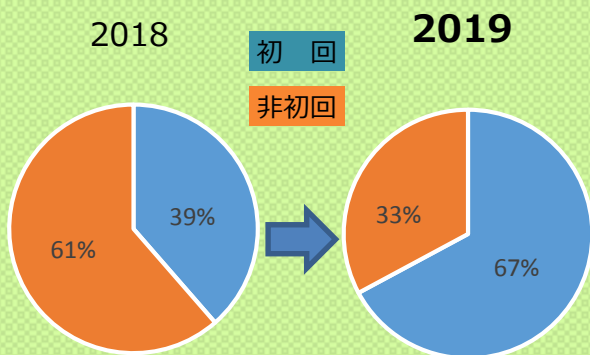
受診率

大腸がん検診の予約	対象者数	うち、大腸がん検診受診者数	受診率
申込不要	422人	207人	49.1%
申込必要	114人	39人	34.2%

結果 2

受診者の7割近くが初回受診 検診未受診者の掘り起こしに なった

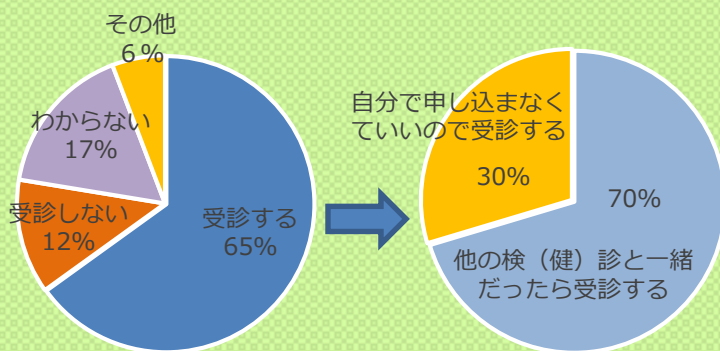
受診者の67%が今回の大腸がん検診は初回受診者であった。
前年同時期と比較して28ポイント増加していた。



結果 3

他の検(健)診も一緒に受診できることも重要な要素

受診者アンケートでは「他の検(健)診と一緒に受診する」と回答した人が7割を占めた。申し込みの手間を省くだけでなく、他の検(健)診と一緒に受診できることがより受診につながりやすくなることが明らかとなった。



事業実施のポイント

検査キットが直接送付されてくると、申し込み手間が省けるため、受診者数の増加につながる。また、他の検(健)診と一緒に受診できることも重要な要素であることから、**検(健)診の受診票や健康教育等の案内送付時等にキットを同封し、市町村で実施する他の検(健)診や健康教育等の保健事業と大腸がん検診を同時実施すると効果的である。**

なお、未使用キットを最小限に抑えるには、特定健診の申込書に次年度の検査キットが不要な場合のチェック欄を設ける等の工夫が必要である。

初回受診者には精密検査受診の必要性を伝えるチラシを渡す等、受診率の向上だけでなく精検受診率が低下しないよう取り組むことが重要である。

IV. 大型商業施設での乳がん検診

大型商業施設での検診実施により 新規開拓層の掘り起こしにつながった！

大阪府の乳がん検診の受診率は全国低位（43位）にあることから、検診受診率向上を図るため、日常生活の中で身近に・気軽に受診できるよう、大型商業施設等への検診車派遣を通じて検診機会の創出を図るモデルを構築。府内市町村との共催で大型商業施設とタイアップし、無料かつ予約不要で乳がん検診を実施した。

受診の障壁となるもの

- ・受診の手続き（予約等）が必要…
- ・受診場所の利便性が高くない…
- ・自分のタイミング（時間）で受診できない…



障壁を除去

大型商業施設へ検診車を派遣し、
予約不要とすることで、
買い物「ついでに」受診
（さらにモデル事業では受診料無料）

■ 事前準備

検診機関、モデル市町村との調整

日程調整、市町村ごとの受診者数の設定、検診機関及び市町村との契約 等

大型商業施設との調整

実施日時・実施場所・検診車駐車場所の調整、必要備品の準備 等

広報

市町村広報紙・施設HPなどでの告知、報道提供



■ 当日の流れ（例）

開場準備

8:00~
10:00

受付・問診スペースの準備、開店前の事前待機列整理、整理券配布 等

受付、検診

10:00~
15:30

受付対応、受診可否の確認、問診（検診機関又は市町村）、検診（検診機関）、受診者の誘導、問診表の確認 等

付随イベントの運営

付随イベント（自治体PRブースや健康啓発イベント）の運営
※受診対象外の方も参加できる健康測定会等を実施

撤収作業

15:30~
16:30

撤収作業、レンタル備品の返却 等

■ 実施状況（令和元年度）

実施日	会場	参画市町村	定員	受診者数
10/31(木)	イオンモール日根野	泉佐野市、熊取町	60名	60名
11/5(火)	イオンモールりんくう泉南	泉南市、阪南市、田尻町、岬町	60名	60名

※受診結果等の個人情報は市町村で共有。要精検者は市町村がフォローアップを実施。

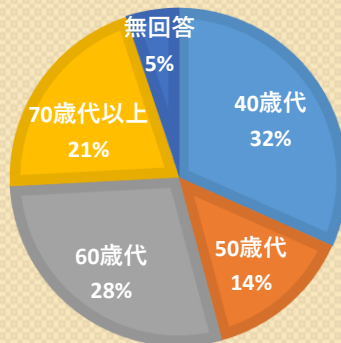
結果 1

受診者は40歳代が最多 不定期受診者が65%

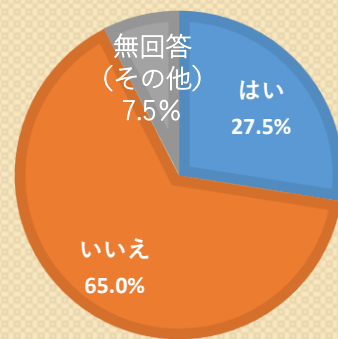
受診者の年齢層は、40歳代が最も多く、次いで60歳代と続く。また、働く世代（40歳代～50歳代）が全受診者の約5割を占める。

定期受診の状況については、不定期受診者が受診者の65%となっており、新規受診者の掘り起こしに効果があった。

○受診者の年代内訳



○定期受診の状況



- ・ はい（定期的に受診している）
- ・ いいえ（定期的に受診していない）

結果 2

受診理由では 「予約の手続きが不要」 が最多

当日の受診理由では、「予約の手続きが不要だから」が最多。次いで「受診料が無料だから」「買い物ついでに（気軽に）受診できるから」と回答。

これまで受診しなかった理由についても、「受診の手続き（予約等）が必要だから」が最も多い回答となった。

結果 3

受診場所の利便性も 受診行動に影響を与える

これまで受診してこなかった理由については「受診場所が不便」という回答も目立った。受診行動に影響を与える要因（最も重要視すること）をみても、「事前予約なしで受診できること」に次いで「受診場所が交通の便のいいところ」が多く、「利便性」が受診行動に影響を与えていることがわかる。住民の日常行動における導線上に検診機会を提供する取組みが効果的である。

アンケート概要 回答者数115人

○当日の受診理由（上位3項目）

予約の手続きが不要だから	受診料が無料だから	買い物ついでに受診できるから
31人	26人	26人

○これまで受診しなかった理由（上位3項目）※

受診の手続き（予約等）が必要	受診する時間がないから	受診場所が不便
43人	19人	18人

○受診行動に影響を与える要因（上位3項目）※

事前予約なしで受診できること	受診場所が交通の便のいいところ	費用が安いこと
46人	45人	20人

※1人2項目まで回答可

事業実施のポイント

検診受診者、イベント参加者へのアンケートでは、**受診者に不定期受診者が多いことや、受診者の9割以上が「今後も受診する」と回答していることが判明**しており、本事業は新規開拓層の掘り起こしと、今後の受診意欲の向上に効果的であるといえる。

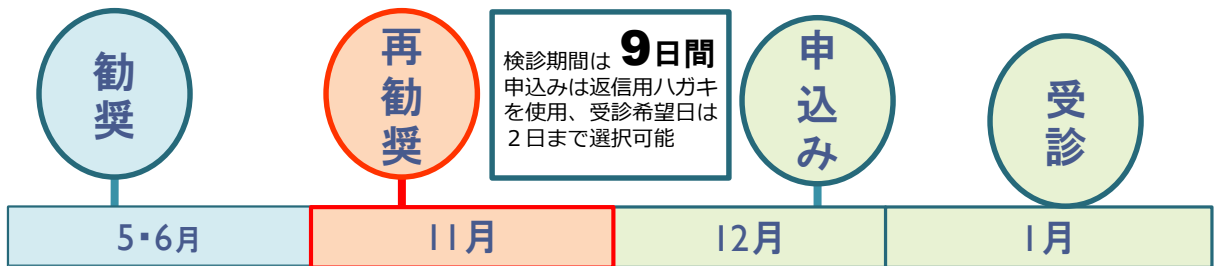
また、当日は大型商業施設の開店前から多くの参加希望者が行列を作った。大型商業施設において検診を実施する場合、様々な施設側の制限・条件があるため、受付方法や待機列の整理、問診スペース、検診車の駐車場所など、**施設側との調整が重要**となってくる。

V. 検診期間を指定した受診勧奨

検診期間を指定した個別受診勧奨により
受診者数が2倍以上になった！

年度当初に実施した勧奨対象者に対して、未受診者への再勧奨を行うにあたり、受診可能日を提示し「いつでも受診可能」としていたものを、あえて受診期間を限定し受診案内を送付した。「●●市民がん検診DAY」として、各日定員は15名、半日で最大5がんの検診を受診可能とした。また、検診場所は市外ではあるが比較的交通の便の良い大阪市内の医療機関とした。

■ 実施までの流れ



■ 対象者

	年齢	性別	5.6月送付の勧奨内容	再勧奨対象者数
A市	50.60	男性 女性	5がん検診の案内書	1,405
B市	45.55	女性	子宮・乳の受診券	1,389

市民がん検診DAY

■ 再勧奨で使ったツール（A4サイズ）

「がん検診DAY」として9日間に受診日を限定し、申込みはハガキを切りとり必要事項を記載し投函する形式

令和元年年度限定 大阪府受診率向上モデル事業

市民がん検診DAY

“そらえば、しばらく検診を受けていない”“申し込みも送付分だけ、時間がなくて...”
そんな 市にお住まいのあなたに、**がん検診DAY**のお知らせをお届けします！

< 申し込みは簡単 >

step 1 検診日を決める
step 2 ハガキを送る
step 3 必要書類が動く
step 4 検診を受診する

がん検診	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
検診 費用×無	検診 費用×無	検診 費用×無	検診 費用×無	検診 費用×無	検診 費用×無
料 金	無料			1,000円	無料
検診場所	大阪がん腫瘍病予防センター（大阪市城東区） 高度がん検診センター				

※ 原則、5つのがん検診すべてを受診して頂く方が対象です

市民がん検診DAY日割

令和元年	1月20日(月)	1月21日(火)
1月17日(金)	1月22日(木)	1月24日(金)
1月22日(木)	1月23日(金)	1月29日(水)
1月27日(月)	1月28日(火)	

受付時間 9:30~9:30
予約受付は、予約センターのみです。

乳がん検診の医師・放射線技師は**全員女性**

午前中半日で、SOの検診を受診できます

お申込み期間 令和元年 11月25日(月)~12月6日(金)

各日定員 **15名**
先着順、定員に達した時点で受付終了です。

この機会にぜひお申込みください。
大阪がん腫瘍病予防センター
大阪市城東区南之島1-4-107
06-6999-0676

120円切手

宛 名

宛このお知らせは、令和元年11月1日現在のご住所を基本情報に基づき作成しております。

市民がん検診DAYのお知らせ

このお知らせは、大阪府のがん検診受診率向上のため、45歳・65歳の女性でまだ市のがん検診を受診されていない方に送付しています。
今年度すでに受診された方にも、このご案内が届いている可能性がありますご了承ください。

市民がん検診DAY申込書

第一希望日

1/17	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/27	1/28	1/29
(金)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(月)	(火)	(水)

第二希望日

1/17	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/27	1/28	1/29
(金)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(月)	(火)	(水)

ご希望される検診日の空欄に○を付けてください。

住所 〒
氏名
生年月日 年 月 日

【問い合わせ先】 市 保健センター
07-999-1000(平日9:00~17:30)
【検診実施機関】大阪がん腫瘍病予防センター
大阪市城東区南之島1-4-107
06-6999-0676

大阪がん腫瘍病予防センター

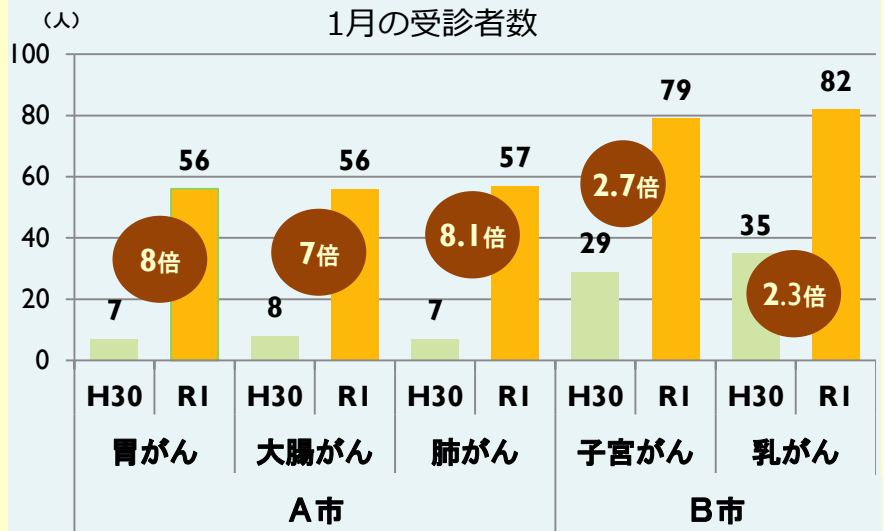
市内各施設での集団検診も実施しています。
詳細は 市広報ウェブサイトにてご確認ください。

市がん検診 検 査

結果 1

受診月の受診者数が 前年と比べ最大8.1倍に

勸奨年齢における前年度との受診者数の比較では、各がんの受診者数は2.3倍から8.1倍に増加した。



※ 2市とも前年度も同年齢に勸奨、再勸奨を実施

結果 2

検診日の指定は79%が 受診のきっかけに

受診日の指定は、受診者の79%が受診のきっかけとなったと回答しており、検診期間を限定した案内は受診行動に結びついたと考えられる。

また、検診を受診する際に最も重要と考える要因としては、「案内ハガキが届く」「半日で複数のがん検診が受診可能」「申し込みが簡単」の順に多かった。なお、「案内ハガキが届く」が最も高かったが、今回の対象者は一度勸奨通知が届いているものの、未受診となっていた者であるため、初回の通知が印象に残っていなかったことが考えられることから勸奨通知にも工夫が必要である。

結果 3

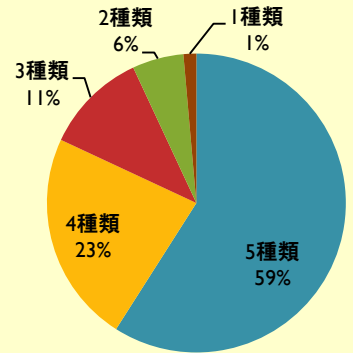
受診者の9割が女性

今回の受診者のうち、9割が女性であった。女性にとって、同時に5がんすべての検診を受診できることはメリットが大きい。検診期間の指定や女性スタッフによる体制整備と合わせて半日での5がんセット検診としたことで、女性の受診につながった。

結果 4

女性受診者の6割が5種類の検診を受診

今回、受診者の59%が5種類の検診を受診した。また、男性の受診者も少なくとも2種類のがん検診を受診しており、一度の再勸奨において、複数のがんの受診者数が増加した結果となった。



事業実施のポイント

受診期間を限定した受診勸奨は、市のがん検診体制や日程、医療機関を知らせる一般的な勸奨ではなく、**ハガキ到着から2ヶ月後の検診日を具体的に示した内容であったため、受診者が予定を立てやすい上、予約までの動作を単純化**することが、検診の予約・受診に結びついたと考えられる。また、**複数のがん検診が短時間で受診可能等、受診者の利便性を高めて案内に記載することも効果的**である。

個別受診勸奨において、生まれ月によって受診できる期間等を限定するなど、できるだけ明確な受診期間を示し、選択肢を減らすことが受診に結びつくと考えられる。

VI. がん検診と特定健診の同時実施支援

協会けんぽ特定健診との同時実施により
受診者数が倍増した！

がん検診の受診機会がない者へのアプローチが可能となるよう、40-74歳までの協会けんぽ加入者の被扶養者を対象とした特定健診と市町村が実施するがん検診を同時に実施した。

今まで、同時実施していなかった理由は・・・【市町村担当者の声】

特定健診とがん検診で検診機関が違うと混乱するのでは？

協会けんぽの特定健診委託機関を市町村の特定健診委託機関に変更する相談も可能

特定健診とがん検診で委託機関が異なる市町村や、がん種によって委託機関が異なる市町村でも、同時実施を行うことは可能です。

新たな会場の確保が必要？
どこで実施すればいいか？

国保の特定健診を集団検診で実施の場合、同じ会場での実施が可能

保健センター等でも配置の工夫で実施可能となる場合もあります

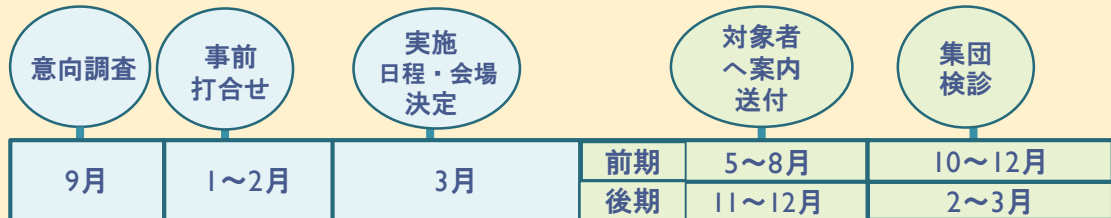
がん検診の予約枠の管理に不安

がん検診の集団検診は、予約開始日等を設定し抽選制にする等、申込が定員を超えることもあるため、通常の集団検診申込枠の中に協会けんぽ被扶養者枠を設けるのは難しい

協会けんぽ加入者の被扶養者対象限定の検診日を設ける等の対応も

特定健診は一日100～200人受診するため、被扶養者限定のがん検診との同時実施日を別途設けても、予約枠はほぼ埋まることが多いようです。

■ 年間スケジュール（例）



協会けんぽが意向調査を実施。実施希望市町村と協会けんぽとで事前打ち合せ

打合せ内容（例）
・実施日程や会場
・予約窓口や予約管理等
・スケジュールの確認

対象者への検診案内
対象市町村居住者への検診案内の送付は協会けんぽが実施

結果

一日当たりの受診者数が
最大1.9倍に

協会けんぽとの同時実施した日と、同時実施していない日との比較では一日当たりの受診者数は最大1.9倍増加した。

（例）A市

同時実施しない日 59人/日
同時実施した日 115人/日 ➔ 1.9倍

事業実施のポイント

協会けんぽとの同時実施を行った市町村担当者からは、新規の受診者が増えた印象との声が多く、**協会けんぽを通じた勧奨の効果**が認められる。

また、会場の確保が課題の市町村については、**保健センターでの実施を検討**することで実施につながる可能性がある。

Ⅶ. 退職後の市町村検診受診移行支援

新たに市町村のがん検診の対象となる人に
一目でわかるがん検診チラシで勧奨！

国民生活基礎調査におけるがん検診の受診率は、60歳代が他年齢と比較し低い傾向がある。これは、退職後、市役所で社保から国保に加入保険の切り替えを行う際のがん検診の案内が不十分であることが考えられる。このため、医療保険の切り替え手続き時に、がん検診は職域から市町村での検診になり、申し込みが必要となることなどを案内し、引き続き受診するよう勧奨を行う。

がん検診の受診率は 60代が一番低い！

年齢	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮頸がん検診
40-49歳	33.4%	33.0%	34.8%	45.2%	49.4%
50-59歳	36.7%	38.2%	40.0%	43.4%	41.5%
60-69歳	31.5%	32.5%	34.8%	28.7%	24.4%

国民生活基礎調査（H28）大阪府の各がん検診の受診率

作成したがん検診チラシ 2種類

A がん検診は市町村での受診になることをフローチャートで意識づけ



B 市町村で実施しているがん検診が一目で分かるイラスト



活用事例

チラシ（案内用紙）として

- 例1 国保切替時に窓口にて配布
- 例2 特定健診受診券送付時に同封

裏面案



チラシの裏面には、市町村で実施の各がん検診について検査内容、対象年齢、自己負担金や問合せ先等を掲載

ポスターとして

国保の窓口や個別医療機関等に掲示

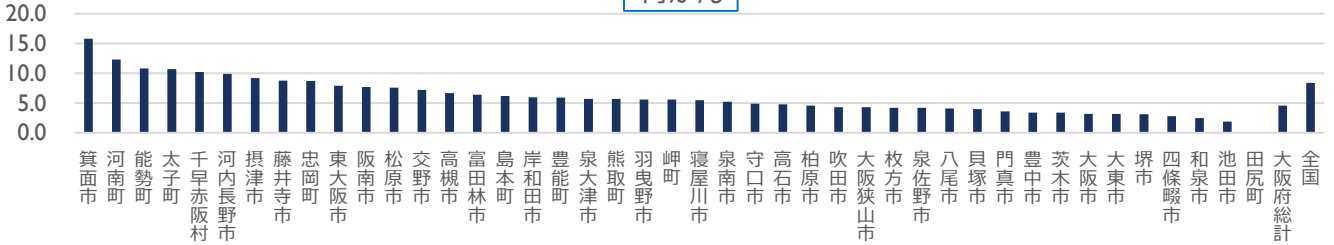
事業実施のポイント

がん検診担当課と国民健康保険担当課が異なる市町村が多く、窓口でのチラシ配付には調整が必要となるが、国保加入者は全てがん検診の対象者である。そのため、**国保加入当初よりターゲットを絞ったチラシを活用**しがん検診の受診勧奨を実施することは重要である。

参 考

平成29年度 厚生労働省『地域保健・健康増進事業報告』におけるがん検診受診率 (%)

胃がん



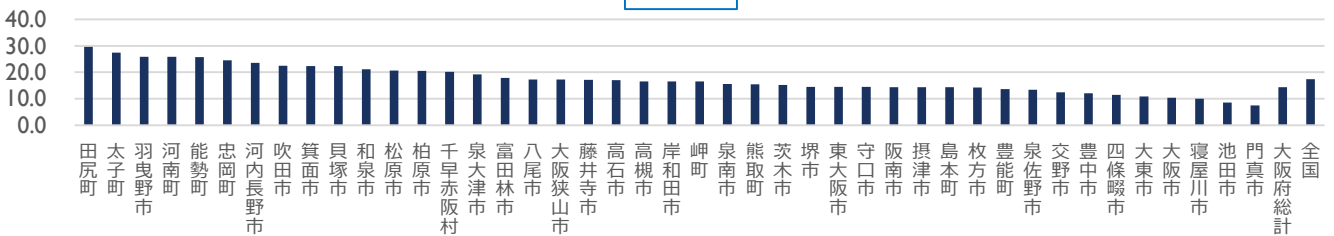
大腸がん



肺がん



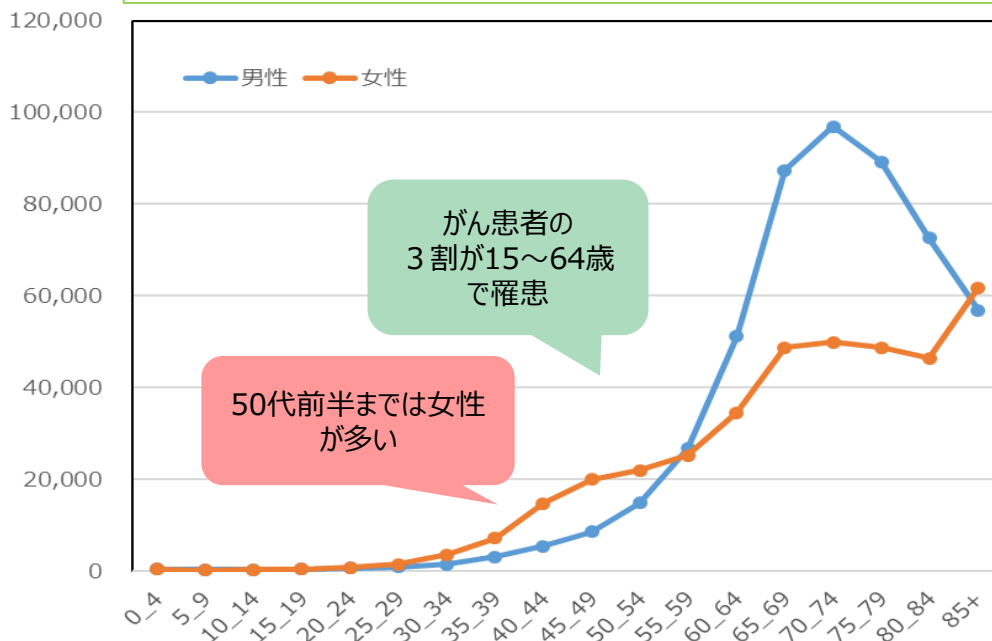
乳がん



子宮がん



男女の年代別がんり患者数（2015年・全国）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

がん検診を受けていない理由（複数回答）

割合%

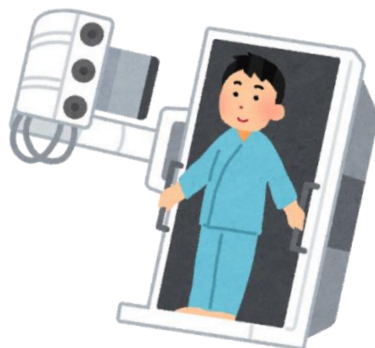
理由	割合%
費用がかかるため、経済的に負担になるから	23.6
受診する時間がないから	14.4
がんが心配な時は、その都度医療機関を受診すればよいと思うから	8.5
受診する場所が不便だから（近くに受診できる場所がないから）	8.0
健康状態に自信があり、必要性を感じないから	7.8
検査に伴う苦痛に不安があるから	7.8
他疾患で医療機関を受診した際に、気になるところがあれば検査（血液・CT・レントゲン等）を受けるようにしているから	7.7
がんと診断されるのが怖いから	7.4
2年に1度は受診しているから	6.3
うっかり受診するのを忘れてしまっているから	5.9
がん検診そのものを知らないから	5.4
がん検診を受けても、見落としがあると思っているから	2.9
恥ずかしいから	1.1
その他	2.5
特に理由はない・わからない	32.5

厚生労働省の指針※に定められたがん検診

胃がん
検診

50歳以上の男女
(2年に1回)

※当分の間、胃部X線検査
については、40歳以上、
年1回の実施もできます。



〔 胃部X線検査 〕



〔 胃内視鏡検査 〕

肺がん
検診

40歳以上の男女
(1年に1回)

※高危険群には、喀痰細胞
診も併用できます。



〔 胸部X線検査 〕

大腸がん
検診

40歳以上の男女
(1年に1回)



〔 便潜血検査 〕

子宮頸がん
検診

20歳以上の女性
(2年に1回)



〔 細胞診 〕

乳がん
検診

40歳以上の女性
(2年に1回)



〔 マンモグラフィ 〕

※視触診併用もできます。

※検診の種類や検査項目、対象者等については厚生労働省が「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
で定めています。

大阪府がん検診受診率向上事業
がん検診受診率向上モデル事例集

発行 大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課
〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目
電話 06-6944-6791

受託者 公益財団法人大阪府保健医療財団
編集 大阪がん循環器病予防センター
協力 〒536-8588 大阪府城東区森之宮1丁目6番107号
電話 06-6969-6711 (代表)

協力市町村：

池田市、泉大津市、八尾市、泉佐野市、羽曳野市、門真市、高石市、
泉南市、阪南市、能勢町、田尻町、熊取町、岬町
ご協力いただいた上記の各市町の皆様にお礼申し上げます。



大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課
令和2年3月